

広報 おおくら

むら美しく 人いきいき キラリおおくら

1

令和2年
No. 725

冬晴れにくつきり浮かぶ月山

● COVER
清水台からの眺め

明けておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、輝かしい「令和」初の新春をご家族お揃いで健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は村政の推進にあたりまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。私ごとではございますが、昨年4月の村長選挙におきまして、4期目の村政を担わせていただき、前にも増して責任の重さを痛感しております。初心を忘れることなく、村民皆様の生活の質的向上・真の豊かさを求め、職員共々しっかりと地に足をつけ、誠心誠意村政運営に努めてまいりますので、何卒これまでと変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、今年の干支は「子」であります。今年は、種子の中に新しい生命がぎざず状態を指すとされ、全ての始まりと未来への可能性を秘めている年といわれています。

そうした年にあやかる様に、大蔵村でも第4次総合計画がスタートする年になります。総合計画については、各地区で開催しました村政座談会においていただいたご意見やご要望を踏まえ、総合計画審議会において鋭意検討していただいております。これまでの審議

交え棚田の振興策や将来への継承のあり方などを大いに語り合い、模索する場にしてまいりたいと思います。

また、本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される年でもあります。東京オリンピックは、昭和39年以来2回目の開催ということで大変心待ちにしている方も多いことと思います。大蔵村からも、パラリンピック卓球競技への出場に向け、世界各地を転戦され努力されている方がいらっしゃいます。是非、パラリンピックへ出場できるよう、村としても、村民の皆様のご理解をいただきながら、精一杯の応援をしてまいります。

さらに、特定事業目的会社を立ち上げ、升玉地区に整備を進めております「おくら升玉水力発電所」については、本年8月の発電開始を目指しております。発電利益による地域活性化を図ることはもとより、豊富な自然資源を生かした再生可能エネルギーの活用によって、地球温暖化のリスクを次世代に残さない、そうしたメッセージをこの小さな大蔵村から発信してまいりたいとの思いを強く持っております。

しかし、そうした思いに反するように昨年もまた、全国各地で大きな自然災害に見舞わ

会で、まちづくりの大きな方向性として「みらい（協働による持続可能な村づくり）」「まち（安心できる安全な生活空間づくり）」「なりわい（地域の特徴を活かした産業振興）」「ひと（地域総がかりの人づくり）」そして、「くらし（生涯すこやかに暮らせる地域づくり）」の5つの柱立てとする旨を伺っております。

私が4期目の村政を担うにあたって「安心安全な村づくり」、「人材の育成」、「産業の振興」、「福祉の充実と生活環境の整備」の4点を村民の皆様方とお約束いたしました。これは、総合計画審議会で示されましたまちづくりの方向性と一致するものであります。私自身、新年にあたりそれらを実現するための各種施策を進め、村制施行150年、200年という未来に向かって新しい挑戦をしてまいりたいとの決意を新たにしたいと考えております。

今年、本村において大きな事業が予定されております。まずは全国棚田サミットの開催であります。折しも、国においては棚田地域振興法が制定され、棚田の持つ多面的機能の維持に国の機関を挙げて力を入れようとしております。この機を逃すことなく、全国各地から多くの関係者をお迎えし、地元関係者も

れ、自然災害の恐怖を痛感した年となりました。年々、私たちの想像を遥かに超える災害が発生し、被害の甚大化が報じられております。本村においては、幸いにして村民の方々の人的被害がなかったことに安堵しておりますが、公共土木施設等の被災箇所も早期復旧に全力で取り組んでまいります。

今後、益々高齢化が進み災害発生時には、これまで以上に的確な判断力と行動力が求められます。村としても災害危険箇所の把握に努め、関係機関と協力し災害発生時の未然防止を図ってまいります。村民の皆様方においても、気象情報や村からの呼びかけに留意され、自らの命を守る行動をとっていただきませうようお願いをさせていただきます。

本村を取り巻く環境は人口減少など未だに厳しい状況にありますが、小さな村だからこそできる福祉の向上を目指し、村民皆様方が心寄せ合える協働の村づくりに邁進する覚悟でございます。今後とも、村民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、令和2年子年、新しい年に大いなる希望を抱き、村民の皆様にとって、大蔵村共々に躍進の年になりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

令和2年 新年のごあいさつ

人口規模の小さな村だからこそできる福祉の向上
心寄せ合える協働の村づくりに邁進してまいります

大蔵村長 加藤 正美



大蔵村の平成31年・令和元年のあゆみ			
1/ 7	月	肘折さんげさんげ	
1/27	日	村営バス肘折ゆけむりライン利用者5万人突破	
2/24	日	地面出し競争World cup in 肘折	
3/ 3	日	大蔵村健康のつどい	
3/16	土	おおくら雪ものがたり	
3/21	木	タイからたくさんの観光客が訪れる	
4/21	日	大蔵村長選挙・村議会議員選挙	
4/25	木	肘折人力車走り初め	
5/ 1	水	加藤正美村長4期目スタート	
5/ 3	金	村消防団春季消防演習	
5/ 3	金	鈴木征一さん（肘折）の肘折系伝統こけしが全日本こけしコンクールで内閣総理大臣賞を受賞	
5/17	金	肘折温泉山菜の食まつりスタート	
5/25	土	大場満郎冒険学校最後の田植え	
6/ 2	日	合海田植え踊り	
6/26	水	松の実塾（6/28まで）	
7/ 1	月	合海定住促進団地分譲地即日完売	
7/ 7	日	村消防団操法大会	
7/14	日	肘折温泉開湯祭	
7/21	日	参議院議員通常選挙投開票	
7/25	木	村公式ワナゲ交流大会	
7/26	金	ひじおりの灯（9/16まで）	
7/26	金	葉山塾（7/27まで）	
8/ 2	金	大蔵村戦没者追悼式	
8/ 3	土	四ヶ村棚田ほたる火コンサート	
8/ 9	金	村納涼花火大会	
8/14	水	村成人式	
8/16	金	肘折温泉湯坐神社祭 仮装盆踊り大会	
9/15	日	村総合防災訓練	
9/19	木	日本で最も美しい村連合東北ブロック会議	
9/25	水	大場満郎冒険学校最後の稲刈り	
9/25	水	おおくら未来会議	
9/26	木	肘折防災センターが完成	
10/ 1	火	スクールバス混乗・四ヶ村循環線でフリー乗降がスタート	
10/ 9	水	教育講演会	
10/13	日	大蔵太鼓保存会結成35周年記念式典	
10/14	月	おおくらスポレク祭	
11/ 3	日	村制施行130周年記念式典・祝賀会	
11/ 6	水	知事と若者の地域創生ミーティング	
11/11	月	肘折温泉郷なめここけし祭り	
11/14	木	やまがた棚田サミット	
12/ 9	月	ふるさと味来館みずき団子づけ	
12/14	土	日本で最も美しい村づくり講演会	



合海定住促進団地分譲地が即日完売

合海地区に定住促進を目的に整備された分譲地が完成し、分譲開始となりました。申し込みを開始した7/1(月)に7区画すべてが完売となりました。



20年の大場満郎冒険学校に幕

滝の沢地区の佐藤勝さんの棚田で行われていた大場満郎冒険学校が最後の開催となりました。長年、沼の台と肘折の子どもたちが田植えと稲刈り作業を体験しました。



肘折防災センターが完成

新たな防災拠点として肘折防災センターが完成し、10/2(水)より供用開始となりました。災害時には災害対策本部を設置し、併設の生涯学習センターは避難所として利用されます。



Okura Village
130th Anniv.

大蔵村・村制施行130周年

明治22年の町村制施行とともに大蔵村が誕生してから130周年を迎えました。年間を通してさまざまな記念事業が開催され、11/3(日)に

は村制施行130周年記念式典と祝賀会が盛大に開催され、130周年を祝いました。



タイからたくさんの観光客が来村

3/21(木)、みちのくインバウンド推進協議会主催のツアーでタイから観光客約200名が訪れ、スノーバナナボートやチューブスライダーなどのスノーアクティビティを体験しました。



肘折ゆけむりライン利用者5万人突破

平成29年4月1日から運行している肘折ゆけむりライン(肘折温泉-新庄線)。運行から約1年10か月で利用者5万人を突破しました。今年の秋ごろの利用者10万人突破を目指しています。

平成31年
・
令和元年

大蔵村の1年をふりかえります

半田恵都さん（合海）中学生人権作文コンテスト 全国大会で奨励賞を受賞



大蔵中学校3年の半田恵都さん（合海）の作文が全国中学生人権作文コンテスト県大会で最優秀賞を受賞し、全国大会では奨励賞を受賞しました。

半田さんはネフローゼという病気をみんなに知ってほしいとの思いから「病気から学んだこと」と題した作文を書きました。半田さんは病気により幼い頃から

色々と制限を受けなければならず辛い思いをした一方で、友達と遊ぶのは楽しいし、何よりネフローゼに負けたくなくて必死に学校に行き続けた経験を記しています。半田さんは「誰もが一生懸命に生きていること、誰もが尊い命であること」を積極的に伝えていきたいと語ってくれました。

長南愛輝さん（豊牧）中学生税についての作文で 東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞



大蔵中学校2年の長南愛輝さん（豊牧）の作文が中学生税についての作文で東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しました。

「環境税で守る地球の未来」と題し、作文では島国ツバルが地球温暖化の影響で数十年後には水没してしまうことを知り、自分たちに何ができるかを調べ

たそうです。温暖化や環境保全に関して他人事のように考えている人たちにも資源の大切さを伝え、環境を守る活動に参加するため、環境税は重要な税であるとしています。長南さん自身も服装で温度調節したり、エアコンを使いすぎないなど、自分でできる取り組みをしていきたいと話してくれました。

絵本とお話の会「フレデリック」が 山形県図書館事業功労者表彰を受賞



絵本とお話の会「フレデリック」（代表長沼弘美さん）が山形県図書館事業功労者表彰を受賞しました。フレデリックは平成14年11月に結成し、現在12名で活動しています。保育所や小中学校での読み聞かせ、学校図書室の本の貸し出し業務、図書室整備など活動は多岐にわたっています。また、絵本作家による講演会や読み聞かせ養成講座、村乳幼児健診ブックスタートなど読書推進活動も行っており、その貢献が評価されました。

山間地農業の課題を陳述

12月2日（月）、仙台市で東北ブロック食料・農業・農村政策審議会企画部会地方意見交換会が行われました。この意見交換会は全国10都市で開催され、審議委員と農林水産省と地域の有識者が意見交換を行うものです。地域の有識者として東北6県から一人ずつが参加し、山形県代表として大蔵村棚田米生産販売組合長の須藤敏彦さん（平林）が意見陳述を行いました。須藤さんは棚田米の販売の取り組みを紹介したうえで、山間地農業の課題について陳述を行いました。



▲ 前列左から4番目が須藤敏彦さん

70年後のわたしたちは？高齢者疑似体験

12月9日（月）、大蔵小学校で高齢者等疑似体験が山形県社会福祉協議会の協力で行われました。6年生31名が肘・膝サポーターやおもりなどの装備をつけ、高齢者役と介助役になり、階段の上り下りや字の読み書きなどを体験しました。小林由依さん（合海）は「腰が痛くて苦しかった。階段では足が上がらなくて辛かった」と話してくれました。困っている方に「何かお手伝いしますか」と声をかけるなど、相手の気持ちを理解し気づかうことの大切さを学びました。



▲ 装備をつけて高齢者を疑似体験

そばクッキーをプレゼント

ままちゃん工房おおくら（代表八鉞とも子さん）のみなさんから、村内2保育所の子どもたち全員に可愛くラッピングされた「おおくら君そばクッキー」が贈られました。ままちゃん工房おおくらから子どもたちへのクリスマスプレゼントとして毎年贈られており、受け取った子どもたちはにこにことした笑顔を浮かべていました。クッキーを受け取った後藤実桜ちゃん（烏川）は「お家でパパと一緒に食べたいな」と話してくれました。



▲ おおくら君クッキーに子どもたちもにっこり笑顔

日本で最も美しい村づくり講演会

12月14日（土）、役場で日本で最も美しい村づくり講演会が開催されました。農業ジャーナリストの青山浩子氏をむかえ、「中山間地の農村がめざす方向は」をテーマに講演が行われました。佐賀県唐津市の棚田での大学や企業との連携など、各地の多くの人とモノをつなげる事例が紹介されました。「農村だけでは衰退してしまう。視野を広げて、どうアンテナを張っていくかが大切」との青山氏の言葉に参加者40名が耳を傾けました。



▲ 参加者は熱心に講演をききました

民生委員・児童委員のみなさんをご紹介します 役場健康福祉課 福祉係 ☎75-2104(内線273)

▶民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、民生委員法・児童福祉法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された方々で、大蔵村では16名の委員のみなさんがそれぞれの担当地区で活動しています。任期は令和4年11月30日までとなります。よろしくお願いいたします。

▶民生委員・児童委員の活動

- ・地域の相談役
生活上の悩みごとの相談(秘密は守られます)
 - ・情報の提供
保健・福祉の制度やサービスを必要な時に利用できるように、関係行政機関と連携します
 - ・地域福祉の増進
地域福祉に対する住民への理解を求める活動や地域福祉の担い手として活動します
 - ・児童福祉の向上
民生委員は児童委員を兼ね、子育てや児童の保護・福祉に関する援助を行います
- ▶主任児童委員
- 主任児童委員は、児童福祉を専門に担当する委員で、地区委員と協力しながら児童福祉関係機関や団体と連絡調整を行います。地域の身近な相談相手として活動するほか、子育て情報を提供しています。
- ▶最も身近な相談相手として
- 介護の悩みや子育ての不安、生活困窮による心配ごとなど、困ったことがあれば秘密は守りますので安心してご相談ください。

▶民生委員・児童委員のみなさんをご紹介します

()は担当地区等を記載



門脇 邦義 (豊牧・滝の沢) 長南 泰久 (清水1・2・3) 秋葉 登美夫 (塩・升玉・柳瀬) 佐藤 えつ子 (比良稲沢・作の巻)



八鍬 雪子 (肘折・金山・健金野) 熊沢 健 (熊高・上竹野) 中島 信一 (沼の台・平林) 加藤 重也 (白須賀)



信田 智恵子 (季の里・清水台) 信田 良子 (合海) 鈴木 二三子 (大坪) 鈴木 仁 (藤田沢・桂)



八鍬 市子 (烏川) 八鍬 伴二 (赤松・通り) 佐藤 てい子 (主任児童委員) 横山 芳江 (主任児童委員)

教育振興会から奨学生募集のお知らせ 教育委員会 教育総務係 ☎75-2323

▶応募資格

大蔵村に住所を有する者の子弟で、令和2年度に高校・専修学校・大学・大学院に進学を希望し、または現に在学している者で、学力優秀かつ学資の支弁が困難な方

▶貸与額と募集予定人数

- ・高校奨学生 月額20,000円以内(若干名)
- ・専修学校奨学生 月額50,000円以内(若干名)
- ・大学・大学院奨学生 月額50,000円以内(若干名)

- ・医師及び歯科医師を養成する大学・大学院生 100,000円以内(1名程度)
- ※募集人数は変更となる場合があります。
- ※大蔵村看護育成修学資金制度に応募される方は本奨学制度への応募も必要となります。
- ▶提出書類
奨学生願書、成績証明書、健康診断書、保護者の所得証明書及び納税証明書
- ▶申込締切 令和2年2月21日(金)

VILLAGE NEWS

大蔵村スポーツ少年団が日本スポーツ少年団顕彰を受賞



大蔵村スポーツ少年団が長年にわたりスポーツ少年団の発展や青少年の健全育成に貢献されていることが評価され、日本スポーツ少年団顕彰を受賞しました。現在の大蔵村スポーツ少年団は、昭和53年以降に結成された各団を統合した団体で、少女バレー、少年野球、中学生野球、バドミントン、スキー、剣道の6種目の複合種目団として活動しています。今後も、スポーツを通じた子どもたちの健全育成が期待されます。

片見公亮さん(烏川) パラ卓球
コパ・タンゴ2019で団体優勝



千葉商科大学4年の片見公亮さん(烏川)が11月22日(金)からアルゼンチンで開催された国際大会パラ卓球コパ・タンゴ2019に日本代表として出場しました。男子団体クラス6-7に出場し、決勝でチリを下し見事優勝しました。片見さんは東京パラリンピック出場を目指します。

菅野熟さん(金山)に選挙制度
130周年記念総務大臣感謝状



菅野熟さん(金山)に選挙制度130周年記念総務大臣感謝状が贈呈されました。菅野さんは平成17年から村選挙管理委員を務め、平成21年からは村選挙管理委員会委員長を務めており、多年にわたり選挙の管理執行に尽力した功績が認められ、感謝状を受賞しました。

加藤正弘さん(白須賀)が山形県きのこ品評会で最高賞を受賞



山形県きのこ品評会が11月28日(木)新庄市のゆめりあで開催されました。今年は7品目60点が出展され、加藤正弘さん(白須賀)の菌床しいたけが最高賞の農林水産大臣賞を受賞しました。加藤さんの菌床しいたけは傘の形やバランス、大きさなどが評価され、3度目の農林水産大臣賞の受賞となりました。加藤さんは「めったにもらえない賞なのでうれしい」と受賞の喜びを話してくれました。



大蔵村中央公民館 図書室だより

村教育委員会 生涯学習係

おすすめの本を紹介します

▶ こども六法 山崎聡一郎/弘文堂

法律はみんなを守るためにある。自分を守る武器になる。いじめや虐待は犯罪です。悪いことをすれば警察に捕まって罰を受けます。それは法律という社会のルールによって決められています。法律という強い味方がいることを知ったら、多くの子どもが勇気を出して助けを求めることができ、救われるかもしれません。子どもでも誰でも読めて法律とはどんなものかを知ることができる本です。法律の難しい用語もイラスト付きで解説しています。



▶ 男の子の学力の伸ばし方・女の子の学力の伸ばし方

富永雄輔/ダイヤモンド社

「男の子」、「女の子」の学力アップに特化した実践的な子育て書。それぞれの特性を活かした学習メソッドを初公開！リビングで勉強させる。2割叱って8割ほめる。それぞれの特性に基づく最適な学力の伸ばし方を紹介しています。



新刊図書を紹介します

▶ 児童むけ

- ・じつちよりんのあるくみち かとうあじゅ/文溪堂
- ・はりきりみかん じゃんぼかめ/国土社
- ・おかたづけバストリオ 新井洋行/ほるぷ出版
- ・小説 天気の子 新海誠/角川文庫
- ・どんぶらどんぶら七福神 みきつみき/こぐま社

▶ 大人むけ

- ・渦 大島真寿美/文藝春秋
- ・希望の糸 東野圭吾/講談社
- ・落日 湊かなえ/角川春樹事務所
- ・トマトブック 坂田阿希子/東京書籍

山形県の特定(産業別)最低賃金が改正

令和元年12月25日で山形県の特定(産業別)最低賃金が改正となりました。県内で働く4つの産業の基幹的労働者に適用されます。

●特定(産業別)最低賃金

- ・一般産業用機械・装置等製造業 時間額 859円
- ・電気機械器具等製造業 時間額 843円
- ・自動車・同附属品製造業 時間額 858円
- ・自動車整備業(整備に携わる者) 時間額 862円

☎ 山形労働局賃金室

☎023-624-8224

油断大敵！安全に雪下ろしを！

1月10日(金)から2月9日(日)は「雪害事故防止強化月間」です。雪による事故被害の原因で最も多いのは、自宅など建物の屋根の雪下ろし作業中の事故で、特に高齢者が事故に遭うケースが多くなっています。次のポイントに注意して、雪下ろし作業は安全に行いましょう。

- (1)気温の高い時は屋根の雪のゆるみに注意
- (2)ヘルメットを着用し安全な服装で作業を
- (3)転落防止のための命綱を
- (4)はしごはしっかり固定
- (5)使いやすい除雪道具を
- (6)作業は2人以上で

新庄市夜間休日診療所

新庄市保健センター内に開設 ☎29-6300

- 診療科目 内科・小児科
- 受付時間 夜間診療(月～土曜) 18:30～21:00 休日診療(日曜・祝日・12/31～1/3) 8:30～11:30/13:00～16:30
- 問合せ先 新庄市健康課健康推進室 ☎22-2111

(7)無理な作業はやめましょう

(8)足場はいつも注意

☎ 県防災危機管理課 ☎023-630-2230

油流失にご注意ください

灯油などの油の流失が多く発生しています。多くは人的ミスによるものです。次のことを守りましょう。

- (1)ホームタンクから灯油を小分けするときは、絶対にその場を離れない
- (2)目印を立て、除雪作業による配管の破損に注意
- (3)落雪によるホームタンクの転倒を防ぐための雪囲いを
- (4)配管やホームタンクは定期的に点検を

※油の流出を起こしてしまった場合や発見した場合は消防署・警察・役場へ連絡してください

☎ 最上川水系水質汚濁対策連絡協議会事務局 国土交通省山形河川国道事務所河川管理課 ☎023-688-8421

家庭教育電話相談 ふれあいほっとライン

学校での悩みや子育ての悩みなど一人で抱えずお電話でお話ください。相談の秘密は守ります。

●電話番号 023-630-2876

●相談時間

月曜日～金曜日8:30～17:15 (相談員対応は9:00～16:15)

※電子メールやFAX、留守番電話は24時間受け付けています。

E-mail:yshogaku@pref.yamagata.jp

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年も多くのみなさんから取材のご協力をいただきました。昨年の特集を振り返ると雪を生かす取り組みや移動販売、学校給食、ひじおりの灯、メンズ農業と盛りだくさんの一年となりました。取材に快く応じてくださるみなさんや広報紙を手にとって

FAX: 023-630-2874

☎ 県教育庁文化財・生涯学習課

☎023-630-2872

山形県立図書館がリニューアルオープンします

県民が集い、学ぶ図書館としてリニューアルオープンします。

●オープン日 2/1(土)

●リニューアルイベント

- ・2/1(土)のイベント 「人と人をつなぐ文学の力 図書館で出会う山形の魅力」をテーマにしたロバート・キャンベル氏による講演
- ・2/2(日)のイベント JAXAと連携した宇宙教室、県出身絵本作家土田義晴氏と一緒に楽しむお話を
- ・企画展 県立図書館平成30年の歩みとともに歩んだ本

※詳しくは県立図書館ホームページをご覧ください。

☎ 山形県立図書館 ☎023-631-2523

令和2年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業

やまがた緑環境税で支援する県民参加による森づくり活動を募集します。

●支援する活動内容

豊かな森づくり活動、自然環境保全活動、森や自然とのふれあい活動、木に親しむ環境づくり

●募集締切 2/6(木)

☎ 役場産業振興課農村整備係

☎75-2105(内線232)

読んでくださるみなさんの存在が広報紙をつくる原動力となっています。ありがとうございます。今年も大蔵村に住む方々、大蔵村を想う方々の声を大切にみなさんに寄り添い、人と人をつなぐ、そして地域をつなぐ「広報おくら」を目指していきます。今年一年もどうぞよろしくお願いいたします。

戸籍の窓

11月16日～12月15日届出分

お誕生おめでとう

地区	お名前	保護者名
合海	沓澤 佑磨くん	宏 樹

お悔やみ申し上げます

地区	お名前(年齢)	世帯主
烏川	斉藤 ツヨ(93)	修 二
白須賀	林 スゲ子(83)	友 也
肘折	鈴木 豊子(94)	征 一
柳 渚	伊藤カツ子(88)	富士夫
清水一	柴田 春義(93)	輝 義
肘折	菅野 廣作(87)	繁 夫
季の里	佐藤スエ子(89)	利 男

※届出の際に、掲載希望の確認を行っています。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

令和元年11月末現在()は昨年同期

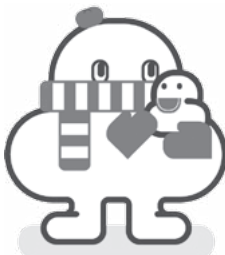
世帯数	1,057戸	(1,072戸)
人口	3,179人	(3,259人)
男	1,578人	(1,616人)
女	1,601人	(1,643人)
出生	男 1人	女 0人 計 1人
死亡	男 2人	女 3人 計 5人
転入	男 2人	女 4人 計 6人
転出	男 0人	女 3人 計 3人

1月の予定

- 7日(火) 肘折さんげさんげ
- 8日(水) ヘルシーティース
- 21日(火) 行政相談
- 22日(水) 新春のつどい
- 25日(土) 肘折幻想雪回廊

村税の納期限

- ☎ 税 目 国民健康保険税 第7期
 - ☎ 納期限 1月31日(金)
- 納期限まで忘れずに納税しましょう。口座振替の方は残高の確認をお願いします。



ぼくたち
わたしたち

はじめての 年男・年女です！

今年^ねは十二支の最初の子年です。大蔵小学校の子年（平成20年）生まれのみなさんに今年の抱負を発表してもらいました。いろいろな夢と希望をもっているみなさん。今年もよい年になるといいですね！



子年にまつわるエトセトラ

大蔵村編

村内の子年生まれのみなさん

○12才	（平成20年生まれ）	23人
○24才	（平成8年生まれ）	14人
○36才	（昭和59年生まれ）	26人
○48才	（昭和47年生まれ）	28人
○60才	（昭和35年生まれ）	46人
○72才	（昭和23年生まれ）	65人
○84才	（昭和11年生まれ）	45人
○96才	（大正13年生まれ）	5人

子年にこんなことがありました！

- 大正13年・清水大火が発生
- 昭和11年・稲作不作
- 昭和23年・大蔵農業協同組合が設立
- 昭和35年・大蔵小学校で完全給食が開始
／大蔵鉾山閉山
- 昭和47年・南山小学校にプール完成／村観光協会が設立
- 昭和59年・大蔵村運動公園完成／役場庁舎増改築
- 平成8年・湯の台で大規模地滑り発生／ライオンセンター風米館完成
- 平成20年・全日本ラングラウフ月山大蔵大会30回を数える／旧沼の台小中学校・肘折小中学校で最後の入学式が行われる

昨年も色んなところに行って、みんなと会えてうれしかったな～♪
体が泥だらけになって叱られたことも懐かしい！今年もたくさんの人と会って色んなことにチャレンジしていきたいな～月山登山とか！
ついに今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催！そして！大蔵村では全国棚田（千枚田）サミットが開催！ぼくの出番も増えるかな～



発行・編集 大蔵村役場総務課
山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地

☎ 0233-75-2111
🌐 <http://www.vill.okura.yamagata.jp/>



Okura Village
130th Anniv.
大蔵村・村制施行130周年